



葛飾区

面積	34.80km ²
世帯数	250,111世帯
人口	467,922人 (うち外国人)
予算	2,399億円
職員数	3,170人

歴史・見所・名所

葛飾区の地域に多くの人々が定住するようになったのは、弥生時代末期から古墳時代前期になってからのことです。

奈良時代には、周辺に1,191人住んでいたことが正倉院に保管されている「養老五年下総国葛飾郡大嶋郷戸籍」に記録されています。古代から葛飾郡、中世から近世にかけては、葛西と呼ばれ、明治時代になると、小菅県などを経て東京府となり南葛飾郡に属しました。昭和7(1932)年10月1日に、本田町、奥戸町、亀青村、新宿町、金町、南綾瀬町、水元村の7か町村が合併し「葛飾区」が誕生し、令和4(2022)年には、区制施行90周年を迎えました。

東側には、江戸川、西には荒川・綾瀬川、中央には中川・新中川が流れており、都内屈指の水郷景観を誇る都立水元公園や花菖蒲の名所「堀切菖蒲園」など、水と緑が調和した美しい環境が多く見られます。

また、映画「男はつらいよ」の舞台として知られ、平成30(2018)年2月には、東京都初の国の重要文化的景観として選定された「柴又」や、漫画「こちら葛飾区亀有公園前派出所」の舞台となった「亀有」、漫画「キャプテン翼」の作者にゆかりのある「四つ木」、昭和レトロな雰囲気が残る「立石」など、人情味あふれる下町らしい暮らしや街並みそのものが魅力でもあります。



SDGsカラーホイール付きCIマーク

葛飾区では、「SDGsカラーホイール付きCIマーク」を作成し、バッジの作成やチラシへの印刷などを通じて、区民等へのSDGsの普及啓発を図っています。



葛飾納涼花火大会
葛飾の夏の夜空を彩る葛飾納涼花火大会



山本亭
大正末期から昭和初期にかけて増改築された近代和風の建物から日本庭園を眺めることができます。

概要

東京都の北東端に位置し、東は江戸川を境に千葉県松戸市に、西は足立区・墨田区、南は江戸川区、北は大場川を境として埼玉県八潮市・三郷市に接しています。土地利用については、都市的土地利用(住宅・商業・工業・公共用地等)が約88%、自然的土地利用(農用地・河川・山林等)が約12%を占めており、他区と比べ、自然的土地利用の比率が高く、農用地も残っています。

近年の葛飾区の総人口は、転入超過による人口増加傾向が続き、令和6(2024)年11月1日現在、約47万人となっています。本区の魅力である美しい花や緑、水辺などの自然環境、下町情緒と人情味あふれる人の絆を活かし、自然を身近に感じられ、快適に暮らせるまちづくりを進めています。

あらゆる世代の方々に住んでみたい、住み続けたいと思われる魅力的なまちをめざして、区民、事業者等の多様な皆様と協働しながら、SDGsが掲げる経済・社会・環境の全ての面における発展に向けた取組を進めています。

主要課題・将来展望

1 葛飾区基本構想

令和3(2021)年3月に策定した葛飾区基本構想において、「人権・平和・多様性の尊重」、「持続的な発展」、「協働によるまちづくり」の3つを区政運営の根本を貫く理念として掲げるとともに、将来像とその実現に向けた5つの基本的な方向性を示しました。

【将来像】 みんなでつくる、
水と緑と人情が輝く 暮らしやすいまち・葛飾

【基本的な方向性】

- (1) いつまでもいきいきと幸せに暮らせる、安全・安心なまち
- (2) 子どもが元気に育ち、誰もが生涯にわたって成長し活躍できるまち
- (3) 人や自然にやさしく、誰もが快適に暮らせる美しいまち
- (4) 葛飾らしい文化や産業が輝く、笑顔とにぎわいあふれるまち
- (5) 先進技術を最大限に活用し、洗練された質の高い生活を送れるまち

2 葛飾区基本計画

(1) 基本方針

葛飾区基本構想の実現に向け、令和3(2021)年7月に「葛飾区基本計画」を策定し、20の政策と64の施策を進めています。

○ 夢と誇りあるふるさと葛飾の実現

未来に夢と希望を抱き、誇りを持って暮らせる、子どもが輝き、にぎわいに満ちた、平和で住みよいまち葛飾を実現するとともに、全ての人が尊重され、ユニバーサルデザインに貫かれた地域社会を実現します。

○ 区民との協働による、いつまでも幸せに暮らせるまちづくり

SDGsが掲げる経済・社会・環境の全ての面における発展をめざして、区民、事業者、団体などの多様な主体と区が互いに連携・協働し、いつまでも住み慣れた地域で幸せや喜びを感じながら暮らせる持続可能なまちづくりを進めます。

(2) 葛飾・夢と誇りのプロジェクト

令和6(2024)年3月に「葛飾区中期実施計画」を策定し、基本計画で掲げた14のプロジェクトに、新たに葛飾かわまちづくりプロジェクト、私学事業団総合運動場活用プロジェクトの2つのプロジェクトを加え、重点的、戦略的、横断的に政策を進めています。

本区では、地震、水害、感染症等のあらゆる危機への対応、区民と事業者の健康活動の促進、交通環境の充実など安全・安心・快適な区民生活の実現に向けた取組や、切れ目のない子ども・子育て支援、教育環境の充実、新たな時代に対応するためのDXの推進など、今後の本区の豊かで持続可能な発展に向けて必要な取組を進めています。

- 1 協働推進プロジェクト
- 2 「健康長寿のまち、葛飾」推進プロジェクト
- 3 共生社会実現プロジェクト
- 4 「子育てするなら、葛飾で」推進プロジェクト
- 5 学力・体力向上プロジェクト
- 6 危機対応力向上プロジェクト
- 7 安全・快適な交通環境実現プロジェクト
- 8 「ゼロエミッションかつしか」実現プロジェクト
- 9 花いっぱいのもちづくり推進プロジェクト
- 10 産業応援プロジェクト
- 11 「観光・文化のまち葛飾」推進プロジェクト
- 12 公共施設の魅力向上プロジェクト
- 13 かつしかファンド活用プロジェクト
- 14 スマートかつしか実現プロジェクト
- 15 葛飾かわまちづくりプロジェクト
- 16 私学事業団総合運動場活用プロジェクト



堀切菖蒲園

花菖蒲が見ごろを迎える6月頃には、葛飾菖蒲まつりが開催されます。



大空翼像

四つ木・立石地区に9体の「キャプテン翼」キャラクター銅像を設置しています。

©高橋陽一／集英社



こち電記念館

「こちら葛飾区亀有公園前派出所」の世界を見て触れて楽しめる観光拠点施設です。令和7(2025)年3月に開館。

©秋本治・アトリエびーだま／集英社



子ども未来プラザ東四つ木

妊娠期から子どもが成人するまで利用できる総合的な子育て支援施設です。区内3か所目として令和6(2024)年1月に開設しました。



東京理科大学葛飾キャンパス
様々な分野で、大学の機能や特性を活かした事業連携を図り、文教都市の拠点となっています。